

## 妙見山古墳群からみる古代のアクセサリー

皆さんは普段アクセサリーを身に付けますか？今では、ピアスやイヤリング、ネックレス、髪飾りなど、多くの種類のアクセサリーを簡単に手に入れることができます。

では大昔のアクセサリーはどうだったのでしょうか。今回は妙見山古墳群から発見されたアクセサリーを紹介・観察していききたいと思います。

## 妙見山古墳群

妙見山古墳群は今津町福岡字日枝・日置前字平林地先の丘陵(妙見山丘陵)に位置し、現在までに60基以上の古墳が確認されています。過去の発掘調査によって、古墳時代のほぼ全期間を通して円形形の古墳(円墳)や四角い形の古墳(方墳)が作られていたことが分かっています。

## 発見されたアクセサリー

妙見山古墳群のなかでもC支群40号墳という古墳からは4基の主体部(遺体を安置する場所)が検出され、

第2主体部からはブレスレット(釧)

1点や勾玉4点・管玉19点・小玉約1500点・ガラス製小玉10点・メノウ製小玉1点が発見されました。では発見されたアクセサリーについて少し詳しく観察していこうと思います。

## 勾玉

40号墳から発見されている4点の勾玉のうち少なくとも2点はヒスイ製のものであることが分かっています。糸を通すための穴をよく観察し



妙見山古墳群出土のネックレス

てみると両側面で穴の大きさが違う

ことが分かります。これは穴をあける方向が一方であった証拠です。ダイヤモンドが硬度(硬さ)10に対してヒスイは6と宝石の中でも硬く、当時の穴をあける技術の高さがかがえます。

## ブレスレット(釧)

ブレスレット(釧)は鉄製の釧の外側に青銅製の釧が巻きついた状態で出土しました。鉄製の釧は直径7cm、幅1cm、厚さ1mmで、その外側に銅



妙見山古墳群出土のブレスレット

とずを混ぜた青銅製の厚さ3mmの釧が付着しています。このサイズのブレスレットをする人物は女性もしくは子どもだったのでしょうか。

妙見山古墳群から発見されたアクセサリーを観察してみました。皆さんも博物館などにお立ち寄りの際には古代のアクセサリーを注意深く観察し、想像を膨らませてはいかがでしょうか。

閩文化財課 (25) 8559

## 編集 雑感

あけましておめでとうございます。令和7年もよろしくお祈いします。さて、令和7年1月1日は、高島市制施行からちょうど20年を迎える日です。10月20日の記念式典では、高島市民憲章が制定されました。この市民憲章に基づき、「住みたい、住み続けたいまち」の実現を一人ひとりが実践し、そして、今後も30年、40年…と高島市がさらなる発展を遂げるように一緒にがんばりましょう！(K)



広報たかしま

令和7年

1

月号

No.300

発行▼高島市 編集▼政策部企画広報課  
〒490-1402 滋賀県高島市新旭町北畑5丁目番地☎0740(25)8000(代)  
🌐<https://www.city.takashima.lg.jp>  
✉[t-info@city.takashima.lg.jp](mailto:t-info@city.takashima.lg.jp)